

火ひと

世界中の子どもに写真教室を通じて「平和」を伝える

庄司 博彦さん

(ラオトジャーナリスト)
・富士見台(6)

報 道写真家として活動する傍ら、6年前から世界各地の学校や施設を訪問し、ボランティアで写真教室を開いています。これまで8か国34か所をめぐる出会った子どもは430人。中には、戦争や災害の傷跡の残る街も多くあります。

「きっかけは、世界同時多発テロの直後、取材で訪れたニューヨークでの出会いです。悲しみに沈む現場で、カメラにほほえみかけた少年の笑顔が心に焼きつき、活動を思い立ちました。まず、子どもたちに「あなた



▲吉永第二小学校の6年生に写真撮影のコツを伝授



きて」と、使い切りカメラを渡すのです。瞳を輝かせながら、子どもたちが写す『平和』は、家族や友達の笑顔、日常の風景でもそれは、プロには撮ることのできない、素直な心で撮られた写真です。教えながら、逆に私が教わることもばかりです。

大地震で瓦れぎと化したイランの街や、戦争の悲しみが今も残るベトナムの施設。どんな状況でも、子どもたちは強く生き、明るい笑顔を見せてくれます。

今、世界各地で写真展を開催中です。世界中の子どもたちが撮った写真を見て、私たちにとってごく当たり前の暮らしこそが、何より平和なのだということとを、皆さんに感じてほしいですね」と熱く語ってくれました。
写真展「地球が教室」 入場無料
11月9日〜21日 駿府フジクローム館(静岡市葵区西草深町10・27)
※このテーマの写真集「写ルンです」で撮った平和」も発売中。

ズームアップ

魅力たっぷり! ひょうたん工芸。全国レベルの作品も

富士天間

ひょうたん会

富 士天間ひょうたん会は、来春で結成20年目を迎える、ひょうたん工芸のグループです。会員は富士川以東に46人、月1回、作品づくりと情報交換を行っています。会員の皆さんは、「初心者から上級者まで、楽しめますよ。何より、趣味を通じて出会った皆さんと話すのが楽しくて!」と和気あいあい。

ことし6月、静岡市で開催された「全日本愛瓢会」で、文部科学大臣賞(渡辺正躬さん)をはじめ、7人が受賞するという快挙を達成しました。昔から、ひょうたんは「無病



▲10月、ステーションプラザFujiでの展示会は大盛況!



▲天間公民館での会合は、いつも明るい笑顔があふれています

息災」の意味を持つ縁起物とされ、日本各地に愛好家があります。種まきから収穫、加工まで、1年を通じて作業が続ぎ、特に実がなる夏は、毎日目が離せません。だからこそ、作品が完成したときの喜びはひとしおです。素材を生かしたシンプルな作品から、鮮やかに彩色した作品まで、年々創作の幅は広がっています。会長の漆畑博三さんは、「ひょうたんの個性を生かしながら、自分のアイデアを加え、世界に一つの作品をつくるのが魅力です。紙バンドと組み合わせるなど、富士市らしさを取り入れた作品を全国に発信したいですね」と意気込みを語ります。

また、出前講座として、小学校で栽培から作品づくりまでを指導しています。「ひょうたんからコマならぬ「ひょうたんから笑顔」があふれ出ている会で、問い合わせへ**会員募集中!!**」
天間公民館 ☎(71) 4007